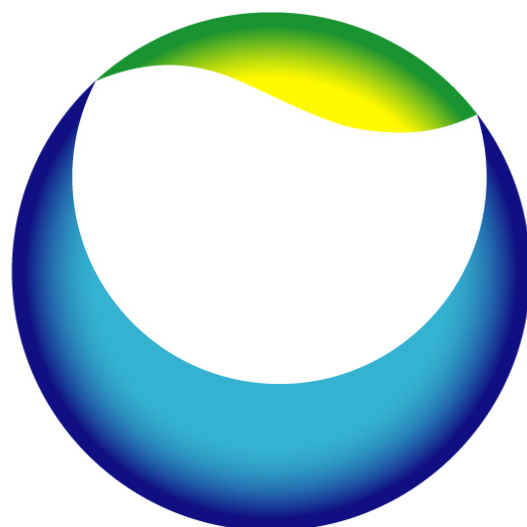


証券コード
4568

決算短信及び補足資料

(2009年3月期第2四半期決算)



Daiichi-Sankyo

2008年10月31日

第一三共株式会社

<http://www.daiichisankyo.co.jp>



2008年度 第2四半期 決算短信および補足資料 目 次

【1】 決算短信

P1～13

【2】 補足資料

1. 損益計算書推移
2. 為替レート
3. グローバル製品売上高
4. 海外売上高
5. セグメント別情報（事業別）
6. セグメント別情報（所在地別）
7. 主要会社の状況
8. 要員数の推移
9. 主要経営財務指標
10. 設備投資および減価償却費
11. 単元株式の所有者別状況
12. 連結貸借対照表
13. 連結損益計算書
14. 連結キャッシュ・フロー計算書
15. 主要開発パイプラインの状況

ご参考：ヒストリカルデータ

2008.10.31



第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部



決算短信

P1 ~13

2008.10.31



第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 第一三共株式会社
 コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東 大 名

(氏名) 庄田 隆

(氏名) 斎 寿明

TEL 03-6225-1126

配当支払開始予定日

平成20年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	406,320	—	61,611	—	59,636	—	33,971	—
20年3月期第2四半期	443,708	△8.7	93,911	19.9	100,696	14.2	60,243	△9.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	47.66	47.66
20年3月期第2四半期	83.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	1,412,307	1,185,588	83.9	1,683.81
20年3月期	1,487,888	1,244,512	83.6	1,730.09

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,185,315百万円 20年3月期 1,243,876百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
21年3月期	—	40.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	△4.6	120,000	△23.5	113,000	△33.2	65,000	△33.4	92.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

今回の予想数値にはこのほど子会社化したランバクシー・ラボラトリーズLtd.の業績分は含んでおりません。

また、同社の最近の株価動向に鑑み、今後必要な会計処理を行う可能性がありますので、平成21年3月期連結業績予想に与える影響等につきましては、あらためてお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	709,011,343株	20年3月期	735,011,343株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	5,063,993株	20年3月期	16,043,319株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	712,754,218株	20年3月期第2四半期	724,154,095株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を使用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

2008年4月1日から9月30日までの当第2四半期累計売上高は4,063億円（前年同期比8.4%減）となりました。

前年同期間と比較して円高傾向で推移したことに加え、欧州子会社の決算期を変更（2007年1月から3月までの3ヶ月分の業績が前年第1四半期に加算されています。）したこと、さらには、医薬品事業への集中化という方針のもと、その他事業をグループ外に自立化させたことなどにより減収となりました。

利益面では、減収に加え、海外における営業基盤の拡充や積極的な研究開発投資などにより、営業利益は616億円（前年同期比34.4%減）、経常利益は596億円（前年同期比40.8%減）、四半期純利益は339億円（前年同期比43.6%減）となりました。

なお、前年における欧州子会社の加算額は、売上高141億円、営業利益18億円、経常利益21億円、当期純利益20億円であります。

[所在地別セグメント]

日本の売上高は、2,656億円（前年同期比10.1%減）となりました。

国内医療用医薬品では、高血圧症治療剤オルメテック、カルブブロック、排尿障害改善剤ユリーフなどが伸長し、また2008年7月に発売した経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤ロキソニンテープの寄与があったものの、薬価改定の影響に加え、高コレステロール血症治療剤メバロチン、合成抗菌剤クラビットなどの売上げが減少し、売上高は2,049億円（前年同期比4.5%減）となりました。

また、海外ライセンスへの輸出及びロイヤリティ収入では、円高の影響や高コレステロール血症治療剤プラバスタチン等の輸出の減少などにより、売上高は338億円（前年同期比14.8%減）となりました。

ヘルスケア品では、新製品の寄与による新三共胃腸薬の売上増加があったものの、2007年9月に発売したしみ〔肝斑に限る〕改善薬トランシーノの伸悩みなどにより売上高は239億円（前年同期比1.8%減）となりました。

北米の売上高は、959億円（前年同期比6.9%増）となりました。

円高傾向に伴う為替の影響があったものの、高血圧症治療剤ベニカー、エイゾール、2型糖尿病への適応追加を取った高コレステロール血症治療剤ウェルコール、貧血治療剤ヴェノファーなどが引き続き伸長しております。

欧州の売上高は、決算期の変更の影響などにより336億円（前年同期比25.8%減）となりましたが、決算期変更の影響額を除いた実質は、オルメテック、骨粗鬆症治療剤エビスタの寄与により、前年同期比7.8%の伸びとなりました。

その他地域の売上高は、110億円（前年同期比16.6%減）となりましたが、これはその他事業のグループ外への自立化によるものであります。

なお、上記前年同期増減比率は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1兆1,855億円（前連結会計年度末比で589億円減少）、総資産は1兆4,123億円（前連結会計年度末比で755億円減少）、自己資本比率は83.9%（前連結会計年度末83.6%）となりました。

純資産の減少は、自己株式の取得や配当金の支払いといった株主還元策の実施及び世界的な金融不安を背景とする株式市場並びに為替相場の影響に伴う評価・換算差額の減少等によるものであります。

総資産においては、純資産の減少のほかに、ランバクシー・ラボラトリーズLtd.の株式取得に備え手元流動性が減少した一方、同社株式の公開買付けのための預け金やU3ファーマAGののれんが増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2008年7月31日に公表しました2009年3月期連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	840,000	130,000	138,000	80,000	111 27
今回修正予想 (B)	840,000	120,000	113,000	65,000	92 34
増減額 (B - A)	—	△10,000	△25,000	△15,000	—
増減率 (%)	—	△7.7	△18.1	△18.8	—
前期実績	880,120	156,827	169,058	97,660	135 35

(修正理由)

当第2四半期末時点の業績は概ね堅調に推移しております。第3四半期以降の売上高については、急激な円高・ユーロ安に伴い為替レートを1ユーロ=120円に見直したことにより、前回予想に対し約90億円下回る見込ですが、第2四半期までに予想を上回っているルイトポルド・ファーマシューティカルズInc.等でカバーできるものと見込んでおります。また、販売費及び一般管理費については、U3ファーマAG買収に伴うのれん償却等の費用や研究開発の進展に伴う費用の増大が予想されるため、100億円程度増加する見込であります。一方、営業外収支においては、為替評価損が生じる見込であり、加えてランバクシー・ラボラトリーズLtd.の株式取得資金の手当てに伴う金融収支悪化も予想されます。

これらの状況を踏まえ、2009年3月期連結業績予想は、2008年7月31日の公表値に対し、売上高は変更しておりませんが、営業利益は100億円下回る1,200億円、経常利益は250億円下回る1,130億円、純利益は150億円下回る650億円と見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当第1四半期連結会計期間より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（企業会計基準委員会平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を適用し、連結財務諸表作成上必要な修正を行っております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は、軽微であります。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が2008年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来どおり賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は、ありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,154	47,335
受取手形及び売掛金	180,543	166,980
有価証券	261,964	526,805
商品及び製品	68,815	65,947
仕掛品	14,687	14,660
原材料及び貯蔵品	17,023	17,550
繰延税金資産	66,467	52,677
預け金	170,871	—
その他	29,207	34,860
貸倒引当金	△216	△293
流動資産合計	857,518	926,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	131,231	136,821
機械装置及び運搬具（純額）	30,491	33,150
土地	33,546	33,116
建設仮勘定	3,126	2,937
その他（純額）	14,840	15,239
有形固定資産合計	213,236	221,266
無形固定資産		
のれん	37,515	15,403
その他	67,316	75,667
無形固定資産合計	104,832	91,070
投資その他の資産		
投資有価証券	204,944	216,038
長期貸付金	218	1,304
前払年金費用	7,361	8,023
繰延税金資産	5,956	5,995
その他	18,598	18,018
貸倒引当金	△361	△352
投資その他の資産合計	236,719	249,028
固定資産合計	554,788	561,364
資産合計	1,412,307	1,487,888

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,174	46,405
短期借入金	4	68
未払法人税等	14,074	18,682
返品調整引当金	802	754
売上割戻引当金	1,180	776
偶発損失引当金	—	226
その他	121,919	127,599
流動負債合計	183,156	194,514
固定負債		
長期借入金	17	18
繰延税金負債	22,629	26,724
退職給付引当金	8,015	6,781
役員退職慰労引当金	138	115
環境対策引当金	330	1,057
その他	12,431	14,165
固定負債合計	43,562	48,862
負債合計	226,718	243,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,202	179,863
利益剰余金	1,031,449	1,025,144
自己株式	△14,543	△43,407
株主資本合計	1,172,108	1,211,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,556	48,539
繰延ヘッジ損益	△13,381	—
為替換算調整勘定	△15,968	△16,263
評価・換算差額等合計	13,206	32,276
新株予約権	257	257
少数株主持分	15	377
純資産合計	1,185,588	1,244,512
負債純資産合計	1,412,307	1,487,888

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	406,320
売上原価	97,643
売上総利益	308,677
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費及び販売促進費	53,137
給料手当及び賞与	45,097
退職給付費用	3,710
研究開発費	82,325
その他	62,795
販売費及び一般管理費合計	247,065
営業利益	61,611
営業外収益	
受取利息	3,153
受取配当金	1,889
その他	1,067
営業外収益合計	6,110
営業外費用	
支払利息	7
為替差損	3,089
デリバティブ評価損	2,292
持分法による投資損失	148
その他	2,548
営業外費用合計	8,085
経常利益	59,636
特別利益	
固定資産売却益	836
貸倒引当金戻入額	6
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	842
特別損失	
固定資産処分損	1,725
減損損失	1,642
投資有価証券評価損	318
環境対策引当金繰入額	196
関係会社株式売却損	15
特別損失合計	3,897
税金等調整前四半期純利益	56,581
法人税等	22,610
四半期純利益	33,971

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	56,581
減価償却費	19,281
減損損失	1,642
のれん償却額	2,949
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△83
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	227
前払年金費用の増減額 (△は増加)	662
受取利息及び受取配当金	△5,042
支払利息	7
固定資産売却損益 (△は益)	888
持分法による投資損益 (△は益)	148
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,016
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,114
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△11,311
その他	△3,525
小計	45,360
利息及び配当金の受取額	5,107
利息の支払額	△7
法人税等の支払額	△31,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,010
定期預金の払戻による収入	1,511
有価証券の取得による支出	△71,308
有価証券の売却による収入	102,178
有形固定資産の取得による支出	△8,822
有形固定資産の売却による収入	1,156
無形固定資産の取得による支出	△20,049
投資有価証券の取得による支出	△188,429
投資有価証券の売却による収入	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△24,266
貸付けによる支出	△97
貸付金の回収による収入	721
その他	12,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△58
自己株式の取得による支出	△45,809
自己株式の売却による収入	13
配当金の支払額	△25,153
その他	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,918
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△252,228
現金及び現金同等物の期首残高	444,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	192,106

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	265,668	95,924	33,644	11,082	406,320	—	406,320
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,023	25,577	11,689	362	64,653	(64,653)	—
計	292,692	121,502	45,334	11,444	470,973	(64,653)	406,320
営業利益	26,736	27,817	1,274	1,103	56,931	4,679	61,611

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の各地域区分に属する国又は地域

北米 …… 米国

欧州 …… ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア等

その他 …… 中国、台湾、ブラジル等

3. 国又は地域の区分の方法の変更

国又は地域の区分の方法については、従来、「日本」「北米」「その他」の3区分としておりましたが、「その他」地域に含めて表示しておりました「欧州」地域の事業規模が拡大し重要性が増加していることから、事業活動をより適切に表現するため、当第2四半期連結累計期間より「欧州」地域を「その他」地域から区分掲記しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、「その他」地域の売上高は45,305百万円（うち外部顧客に対する売上高は33,644百万円）減少し、営業利益は1,279百万円減少しております。

なお、「日本」及び「北米」に与える影響額は、ありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	111,900	45,695	17,136	174,733
II 連結売上高（百万円）				406,320
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	27.5	11.3	4.2	43.0

（注）1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米 …… 米国、カナダ

欧州 …… ドイツ、英国、スペイン、イタリア、アイルランド、フランス、スイス等

その他 …… アジア、中近東、中南米等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年7月1日から平成20年8月1日までの東京証券取引所における市場買付により、普通株式15,000千株（45,733百万円）の自己株式の取得を行っております。また、平成20年9月8日付で普通株式26,000千株の自己株式の消却を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金が74,661百万円、自己株式が28,928百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が105,202百万円、自己株式が14,543百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
I 売上高		443,708
II 売上原価		113,204
売上総利益		330,504
III 販売費及び一般管理費		
1. 広告宣伝費及び販売促進費	50,648	
2. 給料・賞与及び手当	46,764	
3. 研究開発費	78,258	
4. その他	60,921	236,593
営業利益		93,911
IV 営業外収益		
1. 受取利息	4,361	
2. 受取配当金	1,969	
3. その他	2,358	8,688
V 営業外費用		
1. 支払利息	107	
2. 休止設備償却費	402	
3. 賃貸用資産費用	352	
4. その他	1,041	1,903
経常利益		100,696
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	1,347	
2. 関係会社株式処分益	2,293	
3. 投資有価証券売却益	255	
4. 退職給付制度移行益	61	3,957
VII 特別損失		
1. 固定資産処分損	763	
2. 事業統合関連損失	4,009	
3. 偶発損失引当金繰入額	808	
4. 事業再編関連損失	575	
5. 土壌浄化対策引当金繰入額	513	6,670
税金等調整前中間純利益		97,983
法人税、住民税及び事業税	28,726	
法人税等調整額	9,023	37,749
少数株主損益		△9
中間純利益		60,243

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	97,983
減価償却費	18,803
のれん償却額	1,802
貸倒引当金の増減額(減少：△)	71
退職給付引当金の増減額(減少：△)	△24,576
前払年金費用の増減額(増加：△)	14,275
受取利息及び受取配当金	△6,330
支払利息	107
固定資産除売却損益	△583
持分法による投資損益(益：△)	△36
売上債権の増減額(増加：△)	4,580
たな卸資産の増減額(増加：△)	△665
仕入債務の増減額(減少：△)	△8,147
未払金及び未払費用の増減額(減少：△)	△64,990
その他	△9,008
小計	23,286
利息及び配当金の受取額	6,824
利息の支払額	△107
法人税等の支払額	△36,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,834
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,453
定期預金の払戻による収入	704
有価証券の取得による支出	△58,645
有価証券の売却による収入	69,309
有形固定資産の取得による支出	△13,765
有形固定資産の売却による収入	1,464
無形固定資産の取得による支出	△388
投資有価証券の取得による支出	△15,888
投資有価証券の売却による収入	12,929
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	8,796
短期貸付金の純増減額(増加：△)	8,000
貸付けによる支出	△150
貸付金の回収による収入	836
その他	△5,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,610
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少：△)	△4,050
長期借入金の返済による支出	△134
自己株式の取得による支出	△33,362
配当金の支払額	△21,862
その他	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,491
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△89
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△60,804
VI 現金及び現金同等物の期首残高	513,211
VII 連結範囲の変更による増減額(減少：△)	501
VIII 非連結子会社との合併に伴う増加額	1,028
IX 現金及び現金同等物の中間期末残高	453,936

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、当中間連結会計期間より事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	295,374	89,703	58,630	443,708	—	443,708
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,746	21,594	10,098	68,439	(68,439)	—
計	332,120	111,298	68,729	512,148	(68,439)	443,708
営業費用	262,729	88,806	63,998	415,534	(65,737)	349,797
営業利益	69,391	22,491	4,730	96,613	(2,702)	93,911

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	111,208	56,739	20,550	188,498
II 連結売上高（百万円）				443,708
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	25.1	12.8	4.6	42.5



補足資料

P1 ~ 18

2008.10.31



第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部



2009年3月期 第2四半期決算補足資料 目 次

1. 損益計算書推移	P1~2
2. 為替レート	P1~2
3. グローバル製品売上高	P3
4. 海外売上高	P3
5. セグメント別情報（事業別）	P4
6. セグメント別情報（所在地別）	P4
7. 主要会社の状況	P5~8
8. 要員数の推移	P9
9. 主要経営財務指標	P10
10. 設備投資および減価償却費	P10
11. 単元株式の所有者別状況	P10
12. 連結貸借対照表	P11
13. 連結損益計算書	P12
14. 連結キャッシュ・フロー計算書	P13
15. 主要開発パイプラインの状況	P14~18

ご参考：ヒストリカルデータ

将来の見通しに関して

当社では、東京証券取引所に提出する収益予想に加えて、投資家や証券アナリストの皆様が自ら当社の業績に関する予想を立てられるよう、見通しに関するガイダンスを提供する場合があります。また、ご挨拶、講演、質疑応答、当社の発行する書面、ホームページ記載内容等には現在の計画、見通し、戦略などが含まれる場合があります。

何れの場合におきましても、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいております。従いまして、当社の業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これら見通しのみには全面的に依拠されることは控えて頂けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)急速な技術革新が進む創薬分野において、タイムリーに研究・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

1.損益計算書推移

	2008年度実績						増減内容（対前年同期）
	第2四半期		上半期		対公表 (7月発表)	前同増減	
売上高	<-2.7>		<-8.4>				非医薬事業のグループ外化に伴う減少 -164億円 '07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -141億円
売上原価	100.0	2,026	100.0	4,063	63	-374	
販管費	24.2	490	24.0	976	-29	-156	
再掲) 研究開発費	65.1	1,320	60.8	2,471	-24	105	非医薬事業のグループ外化に伴う減少 -25億円 '07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -86億円
再掲) 研究開発費以外の販管費	22.4	454	20.3	823	-27	41	
	42.7	866	40.5	1,647	2	64	
営業利益	<-17.1>		<-34.4>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -18億円
営業外収益	10.7	216	15.2	616	116	-323	
営業外費用		25		61	1	-26	
		53		81	61	62	
経常利益	<-35.3>		<-40.8>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -21億円
特別利益	9.3	188	14.7	596	56	-411	
特別損失		8		8	-17	-31	
		26		39	9	-28	
税引前利益	8.4	170	13.9	566	31	-414	
当期純利益	<-52.8>		<-43.6>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -20億円
	4.4	89	8.4	340	40	-263	

<決算期変更による影響除外後の医薬品事業*の推移>

上記表とは前同比並びに前同増減の計数が異なります

	2008年度実績						増減内容（対前年同期）
	第2四半期		上半期		対公表 (7月発表)	前同増減	
売上高	<1.4>		<-1.7>				販売移管（コバシル、ザンタック等）の影響 -76億円 為替影響額 -140億円 エイゾール一時金 +47億円 主力3製品売上 +40億円
売上原価	100.0	2,026	100.0	4,063	63	-69	
販管費	24.2	490	24.0	976	-29	27	原価率+1.0P バナルジン取引スキームの変更等による
再掲) 研究開発費	65.1	1,320	60.8	2,471	-24	216	
再掲) 研究開発費以外の販管費	22.4	454	20.3	823	-27	49	優先プロジェクト開発進展に伴う費用の増加
	42.7	866	40.5	1,647	2	167	国内における人件費増加 +31億円（'07年度退職給付制度の一元化に伴い、一時的に減少） 欧米での先行投資拡大に伴う増加 +114億円（MR約700名増）
営業利益	<-18.7>		<-33.6>				為替影響額 -25億円
営業外収益	10.7	216	15.2	616	116	-311	
営業外費用		25		61	1	-23	
		53		81	61	62	米子会社DSIにおける擬似ストックオプションの評価損 欧州子会社無形固定資産の為替評価損等
経常利益	<-36.4>		<-39.9>				
特別利益	9.3	188	14.7	596	56	-396	
特別損失		8		8	-17	-15	前年同期に関係会社株式処分益23億円を計上
		26		39	9	-27	前年同期に事業統合関連損失40億円を計上等
税引前利益	8.4	170	13.9	566	31	-383	
当期純利益	<-53.6>		<-40.7>				
	4.4	89	8.4	340	40	-233	

*医薬品事業については、前年度との比較を容易にするために、継続対象としている事業について記載しております。従って、決算上の医薬品事業とは異なります。

2.為替レート

	2007年度実績	2008年度		2008年度当初予想レート
	上半期	上半期実績	年度予想	
円/USD（期中平均）	119.3	106.1	103.1	* 下半期1ドル=100円で推移することを想定 100.0 100.0
円/EUR（期中平均）	160.4	162.7	141.3	* 下半期1ユーロ=120円で推移することを想定 155.0 155.0

(単位：億円)

	2008年度予想					
	下半期		対公表 (7月発表)	年度		対公表 (7月発表)
売上高	<-0.6>		<-4.6>			
	100.0	4,337	-63	100.0	8,400	0
売上原価	24.8	1,074	-6	24.4	2,050	-35
販管費	61.8	2,679	159	61.3	5,150	135
再掲) 研究開発費	22.5	977	137	21.4	1,800	110
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	1,703	23	39.9	3,350	25
営業利益	<-7.2>		<-23.5>			
	13.5	584	-216	14.3	1,200	-100
営業外収益		29	-21		90	-20
営業外費用		79	69		160	130
経常利益	<-21.9>		<-33.2>			
	12.3	534	-306	13.5	1,130	-250
特別利益		42	37		50	20
特別損失		51	26		90	35
税引前利益	12.1	524	-296	13.0	1,090	-265
当期純利益	<-17.1>		<-33.4>			
	7.2	310	-190	7.7	650	-150

<決算期変更による影響除外後の医薬品事業*の推移>

上記表とは前同士の計数が異なります

	2008年度予想						増減内容(対公表)
	下半期		対公表 (7月発表)	年度		対公表 (7月発表)	
売上高	<3.1>		<0.7>				為替影響額 -10億円 【上期：+約85億円、下期：-約95億円(為替レート€の変更)】 国内医薬-50億円、ヘルスケア-20億円、ルイトホルド社±75億円、 DSI±20億円
	100.0	4,337	-63	100.0	8,400	0	
売上原価	24.8	1,074	-6	24.4	2,050	-35	
販管費	61.8	2,679	159	61.3	5,150	135	
再掲) 研究開発費	22.5	977	137	21.4	1,800	110	U3ファーマ買収等による研究開発費の増加
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	1,703	23	39.9	3,350	25	U3ファーマのれん償却費用 ±37億円
営業利益	<-6.4>		<-22.6>				
	13.5	584	-216	14.3	1,200	-100	
営業外収益		29	-21		90	-20	運用資金の減少
営業外費用		79	69		160	130	ランバクシー株式取得に伴う借入金利息発生 米子会社DSIにおける擬似ストックオプション 欧州子会社無形固定資産の為替評価損等
経常利益	<-21.3>		<-32.4>				
	12.3	534	-306	13.5	1,130	-250	
特別利益		42	37		50	20	
特別損失		51	26		90	35	大阪工場閉鎖に伴う臨時償却等
税引前利益	12.1	524	-296	13.0	1,090	-265	
当期純利益	<-18.0>		<-31.7>				
	7.2	310	-190	7.7	650	-150	

2008年度予想

1円の為替変動による年間業績へのインパクト

売上高 約21億円
営業利益 約3億円

売上高 約5億円
営業利益 軽微

3. グローバル製品売上高

		2008年度実績				2008年度予想				前同増減 除) 決算期変更影響	
		第2四半期	上半期	対公表 (7月発表)	前同増減	下半期	対公表 (7月発表)	年度	対公表 (7月発表)	上半期	年度
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】 (地域)		<23.7> 539	<8.2> 1,046	46	79	<14.7> 1,134	-6	<11.5> 2,180	40	<15.9> 143	<15.2> 288
オルメテック	日本	<24.9> 157	<18.6> 313	-17	49	<27.5> 367	17	<23.2> 680	0		
ベニカー/ ベニカーHCT	米国	<1.8> 221	<2.2> 455	45	10	<-2.0> 425	-5	<0.1> 880	40		
エイソール	米国	<-> 24	<-> 38	8	38	<124.3> 57	2	<272.9> 95	10		
オルメテック/ オルメテックプラス *	欧州	<40.7> 103	<-16.3> 187	-3	-36	<-11.2> 173	-51	<-13.9> 360	-54	<17.4> 28	<1.6> 5
セビカー	欧州	-	-	-	-	<-> 40	34	<-> 40	34		
輸出/アジア・中南米子会社等		<72.2> 33	<53.6> 54	14	19	<53.8> 71	-4	<53.7> 125	10		
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】 (地域)		<0.5> 236	<-6.8> 493	-7	-36	<-5.6> 527	-13	<-6.2> 1,020	-20		
クラビット	日本	<-6.0> 94	<-11.2> 196	-24	-25	<0.4> 254	4	<-5.0> 450	-20		
輸出等		<19.4> 83	<0.7> 178	18	1	<-13.2> 142	-18	<-5.9> 320	0		
特許料		<-13.8> 40	<-13.2> 80	0	-12	<-12.5> 90	0	<-12.9> 170	0		
アジア子会社		<0.9> 19	<-0.5> 39	-1	0	<4.7> 41	1	<2.2> 80	0		
ブラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】 (地域)		<-14.9> 159	<-20.8> 319	-11	-84	<-21.0> 286	-9	<-20.9> 605	-20	<-17.5> -68	<-19.2> -144
メバロチン	日本	<-14.8> 131	<-16.0> 266	-14	-51	<-18.4> 244	-6	<-17.2> 510	-20		
輸出		<-33.6> 8	<-36.8> 18	8	-11	<-44.6> 12	2	<-40.1> 30	10		
欧州子会社 *		<-3.4> 12	<-52.2> 20	-5	-22	<-40.5> 15	-5	<-47.7> 35	-10	<-21.8> -6	<-31.2> -16
アジア・中南米子会社		<-7.6> 8	<-5.4> 15	0	-1	<-7.0> 15	0	<-6.2> 30	0		

* 欧州オルメサルタン、ブラバスタチンの2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分（2007年1月-2008年3月）を計上しております。
なお、2007年1月-3月の実績は、オルメサルタン64億円（€40 mil）、ブラバスタチン16億円（€10 mil）であります。

4. 海外売上高

		2008年度実績				2008年度予想				前同増減 除) 決算期変更影響	
		第2四半期	上半期	対公表 (7月発表)	前同増減	下半期	対公表 (7月発表)	年度	対公表 (7月発表)	上半期	年度
海外売上高		<3.6> 861	<-7.3> 1,747	157	-138	<0.1> 1,703	-67	<-3.8> 3,450	90	<0.2> 4	<0.1> 5
対売上高比率		42.5%	43.0%			39.3%		41.1%			
北米		<-2.7> 536	<0.6> 1,119	159	7	<-3.3> 1,051	-29	<-1.3> 2,170	130		
欧州 *		<31.8> 233	<-19.5> 457	-3	-110	<8.6> 453	-47	<-7.6> 910	-50	<7.2> 31	<7.9> 67
アジア/中南米他		<-10.9> 92	<-16.6> 171	1	-34	<0.9> 199	9	<-8.1> 370	10		

* 欧州子会社（DSE）の2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分（2007年1月-2008年3月）を計上しております。
なお、2007年1月-3月の実績は、売上高141億円であります。

5.セグメント別情報（事業別）

（単位：億円）

	2008年度実績						
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減	
連結売上高	<13.5>	2,037	<2.7>	2,026	<8.4>	4,063	-374
医薬品事業	<10.2>	2,029	<1.7>	2,016	<4.6>	4,045	-195
国内医療用医薬品	<8.2>	1,033	<0.4>	1,016	<4.5>	2,050	-96
海外医療用医薬品*	<14.1>	887	<5.3>	858	<5.5>	1,745	-102
ヘルスケア	<3.1>	102	<5.2>	138	<1.8>	240	-4
その他事業	<91.5>	8	<90.0>	10	<90.7>	18	-179
連結営業利益	<41.0>	400	<17.1>	216	<34.4>	616	-323
医薬品事業	<42.3>	394	<18.9>	209	<35.9>	604	-338
その他事業	<->	5	<->	7	<->	12	16

*2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。
2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっており、その影響額（2007年1月～3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6.セグメント別情報（所在地別）

（単位：億円）

	2008年度実績						
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減	
連結売上高	<13.5>	2,037	<2.7>	2,026	<8.4>	4,063	-374
日本	<12.6>	65.1 1,327	<7.3>	65.7 1,330	<10.1>	65.4 2,657	-297
北米	<12.5>	24.9 507	<1.4>	22.3 453	<6.9>	23.6 959	62
欧州*	<53.1>	7.4 152	<41.9>	9.1 185	<25.8>	8.3 336	-117
アジア/中南米 他	<16.9>	2.6 52	<16.3>	2.9 58	<16.6>	2.7 111	-22
連結営業利益	<41.0>	400	<17.1>	216	<34.4>	616	-323
日本		185		82		267	
北米		169		109		278	
欧州*		12		0		13	
アジア/中南米 他		7		4		11	

*2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。
2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっており、その影響額（2007年1月～3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7. 主要会社の状況

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2008年度実績				2008年度予想					
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表		
国内医療用医薬品合計	<-5.0>	2,004	4	-106	<-0.7>	2,146	-54	<-2.8>	4,150	-50
循環器関連疾患領域	<-4.2>	1,172	-48	-51	<0.7>	1,228	-2	<-1.7>	2,400	-50
オルメテック 【高血圧症治療剤】	<18.6>	313	-17	49	<27.5>	367	17	<23.2>	680	0
カルブロック 【高血圧症治療剤】	<23.0>	60	-10	11	<49.9>	80	10	<37.1>	140	0
アーチスト 【高血圧症治療剤】	<4.1>	110	0	4	<4.0>	110	0	<4.1>	220	0
メパロチン 【高血圧症治療剤】	<-16.0>	266	-14	-51	<-18.4>	244	-6	<-17.2>	510	-20
クレメジン 【慢性腎不全剤】	<3.9>	64	4	2	<22.1>	76	-4	<13.0>	140	0
ハンブ 【急性心不全剤】	<-5.8>	42	-8	-3	<-0.2>	53	3	<-2.8>	95	-5
リバロ 【高血圧症治療剤】	<11.8>	29	-1	3	<79.0>	51	1	<46.6>	80	0
サンリズム 【不整脈治療剤】	<-3.6>	59	-11	-2	<2.3>	61	11	<-0.7>	120	0
ファスティック 【血糖降下剤】	<-0.3>	26	-4	0	<32.2>	34	4	<15.8>	60	0
感染症/骨・関節/ 免疫・アレルギー/泌尿器	<-2.3>	627	-13	-15	<2.2>	763	43	<0.1>	1,390	30
クラビット 【合成抗菌剤】	<-11.2>	196	-24	-25	<0.4>	254	4	<-5.0>	450	-20
ロキソニン 【消炎鎮痛解熱剤】	<15.2>	189	-1	25	<22.7>	211	11	<19.0>	400	10
モービック 【消炎鎮痛剤】	<-14.8>	46	-14	-8	<11.3>	54	4	<-2.4>	100	-10
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	<52.2>	35	-5	12	<60.5>	50	0	<57.0>	85	-5
シルテック 【抗アレルギー剤】	<-20.7>	36	-4	-9	<-14.2>	54	4	<-16.9>	90	0
造影剤/癌/消化器	<-18.1>	248	-12	-55	<-19.5>	232	-28	<-18.8>	480	-40
オムニパーク 【造影剤】	<-8.5>	146	6	-13	<-5.3>	144	4	<-6.9>	290	10
トボテンシ注 【抗悪性腫瘍剤】	<1.4>	31	1	0	<9.2>	34	4	<5.3>	65	5

7-2. 第一三共ヘルスケア

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
ヘルスケア売上高合計	<1.8>				<8.1>		<3.3>	
	240	-20	-4		280	0	520	-20
ルル類	<0.6>	49	-1	0	<5.7>	54	<3.2>	103
				感冒薬市場の低迷により売上は横這いとなったが、市場におけるシェアは拡大した。	1			0
ガスター10	<4.0>	16	-1	-1	<21.6>	22	<9.1>	38
				胃腸薬市場における競合激化により微減。	1			0
新三共胃腸薬類	<20.0>	16	0	3	<11.2>	19	<0.8>	35
				2007年11月に発売した新製品『新三共胃腸薬プラス』が順調に推移、既存品とのブランド内競合も少なく、売上増加。	0			0
パテックス類	<14.5>	16	1	-3	<23.2>	14	<0.1>	30
				2007年度上半期に発売した『パテックスフェルピナク』シリーズの新製品（5・35・シップ）の寄与により、計画通り進捗。	-1			0
トランシーノ	<14.5>	12	-8	-2	<50.3>	18	<14.9>	30
				2007年9月に発売後、新規ユーザーは一定して獲得できているものの、潜在ニーズを開拓し切れていない面があり減収。	-12			-20

7-3. 第一三共 Inc. (米国)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
第一三共 Inc. (DSI)	<5.8>				<7.0>		<6.4>	
	689	99	38		661	-39	1,350	60
mil USD	<19.0>				<17.0>		<18.0>	
	649	59	104		661	-39	1,310	20
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<2.2>	455	45	10	<2.0>	425	<0.1>	880
				優れた降圧効果を有するアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）として、継続してプロモーションを積極展開し、ARB市場の拡大を上回る成長を継続。今年度よりDSIの単独販売体制も順調に稼働。	-5			40
mil USD	<15.0>				<7.3>	425	<11.0>	854
					-5			14
エイソール 【高血圧症治療剤】	<->	38	8	38	<124.3>	57	<272.9>	95
				2007年10月に販促開始後、卓越した有効性と安全性を有する製品としてのポジションを確立すべくプロモーションを強化。	2			10
mil USD	<->				<153.5>	57	<313.5>	92
					2			7
ウェルコール 【高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤】	<9.9>	125	10	11	<18.9>	135	<14.4>	260
				2008年1月の2型糖尿病有効能追加により、プロモーションを強化し伸長を加速。	0			10
mil USD	<23.6>				<29.8>	134	<26.8>	252
					-1			2

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
ルイトボルド (LPI)	<9.9>				<17.0>		<4.0>	
	270	70	24		220	20	490	90
mil USD	<23.6>				<8.3>		<6.4>	
	255	55	49		221	21	475	75
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<14.0>	168	53	21	<16.2>	137	<1.8>	305
				透析市場における堅調な推移に加えて、非透析市場においても伸長。	22			75
mil USD	<28.3>				<7.3>	137	<8.9>	296
					22			66

7-5. 第一三共ヨーロッパGmbH (欧州)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	<25.7>				<17.3>		<-7.7>	
	337	-33	-116		383	-37	720	-70
mil EUR	<26.8>				<48.8>		<4.9>	
	207	-33	-76		302	32	509	-1
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<16.3>				<-11.2>		<-13.9>	
	187	-3	-36		173	-51	360	-54
mil EUR	<-17.5>				<15.2>		<-2.2>	
	115	-10	-24		140	0	255	-10
セビカー 【高血圧症治療剤】	-	-	-		<->		<->	
mil EUR	-	-	-		40	34	40	34
メパロチン 【高リステロール血症治療剤】	<-52.2>				<-40.5>		<-47.7>	
	20	-5	-22		15	-5	35	-10
mil EUR	<-52.8>				<-20.8>		<-40.6>	
	12	-4	-14		13	-1	25	-5
エビスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<163.5>				<114.1>		<138.3>	
	68	-7	42		57	-18	125	-25
mil EUR	<159.7>				<181.2>		<170.6>	
	42	-6	26		47	-1	88	-8

* DSE、オルメテック/オルメテックプラス、メパロチン、エビスタの2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分(2007年1月-2008年3月)を計上しております。
 なお、2007年1月-3月の実績はそれぞれ、141億円(€89 mil)、64億円(€40 mil)、16億円(€10 mil)、10億円(€6 mil)であります。

7-5. 第一三共ヨーロッパGmbH (欧州) <2007年度決算期変更による影響除外>

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	<8.0>				<17.3>		<12.8>	
	337	-33	25		383	-37	720	-70
mil EUR	<6.6>				<48.8>		<28.2>	
	207	-33	13		302	32	509	-1
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<17.4>				<-11.2>		<1.6>	
	187	-3	28	単剤が堅調に推移したことに加え、2007年度中に主要国で上市が完了した配合剤が順調に伸長。	173	-51	360	-54
mil EUR	<16.0>				<15.2>		<15.5>	
	115	-10	16		140	0	255	-10
セビカー 【高血圧症治療剤】	-	-	-	(2007年9月、欧州28カ国に申請)	<->		<->	
mil EUR	-	-	-		40	34	40	34
メパロチン 【高リステロール血症治療剤】	<-21.8>				<-40.5>		<-31.2>	
	20	-5	-6	自社販売、提携先への販売とも減少。	15	-5	35	-10
mil EUR	<-22.7>				<-20.8>		<-21.7>	
	12	-4	-4		13	-1	25	-5
エビスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<324.0>				<114.1>		<192.6>	
	68	-7	52	2008年2月、販売地域が8カ国から34カ国に大幅拡大したことにより売上も伸長。	57	-18	125	-25
mil EUR	<319.2>				<181.2>		<232.7>	
	42	-6	32		47	-1	88	-8

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

1) 各社売上高

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
ASCA合計	<11.6> 111	1	12		<15.5> 128	8	<13.7> 239	9
第一製薬北京 (DPP)	<4.7> 20	-1	1	現地通貨ベースでは +9.7%の伸長	<0.1> 22	3	<2.2> 42	2
上海三共 (SSP)	<47.1> 16	-1	5	現地通貨ベースでは +54.1%の伸長	<77.4> 21	1	<62.6> 37	0
韓国第一三共 (DSKR)	<2.7> 18	3	0	現地通貨ベースでは +29.5%の伸長	<0.5> 17	2	<1.6> 35	5
第一三共タイ (DSTH)	<7.2> 4	0	0	現地通貨ベースでは +24.9%の伸長	<0.2> 5	1	<3.4> 9	1
台湾第一三共 (DSTW)	<1.4> 19	-1	0	現地通貨ベースでは +6.4%の伸長	<10.6> 20	1	<5.9> 39	0
第一三共ブラジル (DSBR)	<13.3> 22	-1	3	現地通貨ベースでは +7.6%の伸長	<14.0> 28	1	<13.7> 50	0
第一三共ベネズエラ (DSVE)	<16.2> 11	1	2	現地通貨ベースでは +32.8%の伸長	<13.9> 16	2	<14.9> 27	3

2) 主要製品売上高

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
オルメサルタン	<91.5> 32	7	15	台湾、ブラジル、ベネズエラなどでの拡大に加え、韓国でのコ・プロモーション開始 (08年4月) やインドでの新発売も寄与 (08年9月)	<69.4> 43	8	<78.2> 75	15
レボフロキサシン	<-0.5> 39	-1	0		<4.7> 41	1	<2.2> 80	0
ブラバスタチン	<-5.4> 15	0	-1		<-7.0> 15	0	<-6.2> 30	0

8. 要員数の推移

	2007年度		2008年度	
	3月末		6月末	9月末*
連結要員数	15,349		15,731	16,237
(再掲)				
国内要員数	9,048		9,106	9,096
海外要員数	6,301		6,625	7,141

	2007年度		2008年度			
	3月末	営業担当者数 (MR)	6月末	営業担当者数 (MR)	9月末*	営業担当者数 (MR)
連結要員数	15,349		15,731		16,237	
(再掲)						
【日本】						
第一三共 (DS)	5,925	2,400	6,024	2,400	6,007	2,400
第一三共ヘルスケア (DSHC)	396	150	399	150	401	150
【米国】						
第一三共INC. (DSI)	2,446	1,550	2,667	1,590	2,856	1,810
ルイトボルド社 (LPI)	498	90	495	90	497	90
【欧州】						
第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE)	1,776	830	1,774	850	2,031	1,020
【アジア/中南米】						
第一製薬北京 (DPP)	443	143	443	143	470	164
上海三共 (SSP)	456	196	476	196	486	201
香港第一三共 (DSHK)	7	-	7	-	7	-
韓国第一三共 (DSKR)	89	51	89	49	89	48
第一三共タイ (DSTH)	46	18	43	17	38	13
台湾第一三共 (DSTW)	150	65	158	65	159	69
第一三共ブラジル (DSBR)	266	118	266	118	288	116
第一三共ベネズエラ (DSVE)	123	70	123	70	128	61

*会計期間の異なる海外子会社（中国等）については6月末要員数

9.主要経営財務指標

	2007年度実績		2008年度 実績	2008年度
	上半期	年度	上半期	年度予想
経営指標				
配当性向（連結）	42.1%	51.7%	83.9%	(86.6%)
純資産配当率（DOE）	-	4.0%	-	-
1株当たり利益（EPS）	83.2円	135.3円	47.7円	(92.3円)
1株当たり配当金	35.0円	70.0円	40.0円	80.0円
配当金総額	252億円	503億円	282億円	
自己資本当期純利益率（ROE）	-	7.8%	-	
1株当たり純資産（BPS）	1,762.0円	1,730.1円	1,683.8円	
自己資本比率	83.6%	83.6%	83.9%	
自己株式取得（株式数）	10,020千株	10,035千株	15,021千株	*うち、26百万株消却（9月）
自己株式取得	334億円	334億円	458億円	
期末発行済株式総数*	719百万株	719百万株	704百万株	
期末株価（終値）	3,450円	2,945円	2,695円	
時価総額	24,805億円	21,174億円	18,973億円	
財務指標				
総資産	15,158億円	14,879億円	14,123億円	
流動資産	9,449億円	9,265億円	8,575億円	
有利子負債	59億円	1億円	0億円	
自己資本	12,668億円	12,439億円	11,853億円	
営業CF	-68億円	667億円	188億円	
投資CF	56億円	-494億円	-1,980億円	
財務CF	-595億円	-829億円	-710億円	
フリーキャッシュフロー**	-12億円	173億円	-1,793億円	
現金および現金同等物期末残高	4,539億円	4,443億円	1,921億円	
手元流動性 （現金+有価証券+投資有価証券他）	6,526億円	6,655億円	3,851億円	
連結子会社数	46社	43社	43社	

*自己株式を除く

**営業CF+投資CFで算出しております

10.設備投資および減価償却費

	2007年度実績		2008年度 実績	2008年度
	上半期	年度	上半期	予想
減価償却費	188	387	193	385
設備投資（工事ベース）	128	211	77	180

（億円）

11.単元株式の所有者別状況

	2007年9月末			2008年3月末			2008年9月末		
	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比
政府及び地方公共団体	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%
金融機関	192	343	46.7%	187	350	47.8%	189	340	48.0%
金融商品取引業者	65	17	2.4%	45	19	2.7%	46	12	1.8%
その他の法人	653	44	6.0%	673	44	6.1%	645	44	6.4%
外国法人等	614	221	30.2%	653	212	29.0%	642	216	30.6%
個人・その他	58,079	91	12.5%	56,944	89	12.2%	56,967	88	12.5%
自己株式	1	16	2.2%	1	16	2.2%	1	5	0.7%
合計	59,605	733	100.0%	58,504	733	100.0%	58,492	707	100.0%

12.連結貸借対照表

〈資産の部〉

(単位：億円)

	2008.3.31		2008.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
流動資産	9,265	62.3%	8,575	60.7%	-690	
現金及び預金	473		482		8	手元流動性（現預金＋有価証券＋投資有価証券他） 合計 3,851億円（対07年度末 -2,769億円）
受取手形及び売掛金	1,670		1,805		136	
有価証券	5,268		2,620		-2,648	【内容】・当期利益 +340億円 ・配当金支払 -252億円 ・自己株式取得 -458億円 ・U3ファーマ株式取得 -268億円 ・ランバクシー社関連公開買付準備金等 約-1,740億円
たな卸資産	982		1,005		24	
繰延税金資産	527		665		138	
預け金	-		1,709		1,709	
その他	349		292		-57	
貸倒引当金	-3		-2		1	ランバクシー株式取得に関わるデリバティブの繰延税金資産 ±91億円
固定資産	5,614	37.7%	5,548	39.3%	-66	
有形固定資産	2,213	14.9%	2,132	15.1%	-80	
建物及び構築物	1,368		1,312		-56	
機械装置及び運搬具	332		305		-27	
土地	331		335		4	
建設仮勘定	29		31		2	
その他	152		148		-4	
無形固定資産	911	6.1%	1,048	7.4%	138	
のれん	154		375		221	U3ファーマ（251億円 2Qより5年償却）
その他	757		673		-84	
投資その他の資産	2,490	16.7%	2,367	16.8%	-123	
投資有価証券	2,160		2,049		-111	株式市場の低迷による時価評価額の減少
長期貸付金	13		2		-11	
前払年金費用	80		74		-7	
繰延税金資産	60		60		0	
その他	180		186		6	
貸倒引当金	-4		-4		0	
資産合計	14,879	100.0%	14,123	100.0%	-756	

〈負債及び純資産の部〉

(単位：億円)

	2008.3.31		2008.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
負債合計	2,434	16.4%	2,267	16.1%	-167	
流動負債	1,945	13.1%	1,832	13.0%	-114	
支払手形及び買掛金	464		452		-12	
短期借入金	1		0		-1	
未払法人税等	187		141		-46	
返品調整引当金	8		8		0	
売上割戻引当金	8		12		4	
偶発損失引当金	2		-		-	
その他	1,276		1,219		-57	欧州エビスタ販売権取得等に伴う未払の減少 -288億円 ランバクシー株式取得に関わるデリバティブ債務 +225億円
固定負債	489	3.3%	436	3.1%	-53	
繰延税金負債	267		226		-41	
退職給付引当金	68		80		12	
役員退職慰労引当金	1		1		0	
環境対策引当金	11		3		-7	
その他	142		124		-17	
純資産	12,445	83.6%	11,856	83.9%	-589	
株主資本	12,116	81.4%	11,721	83.0%	-395	
資本金	500		500		0	
資本剰余金	1,799		1,052		-747	自己株式消却 -747億円（26百万株）
利益剰余金	10,251		10,314		63	利益剰余金の増加 +63億円 〈変動要因〉 当期利益 +340億円 配当 -252億円 取得：15百万株 -457億円、消却：26百万株 +747億円
自己株式	-434		-145		289	
評価・換算差額等	323	2.2%	132	0.9%	-191	
その他有価証券評価差額金	485		426		-60	株式市場の低迷による減少
繰延ヘッジ損益	-		-134		-134	ランバクシー株式取得に関わるデリバティブの評価差額
為替換算調整勘定	-163		-160		3	
新株予約権	3	0.0%	3	0.0%	0	
少数株主持分	4	0.0%	0	0.0%	-4	
負債純資産合計	14,879	100.0%	14,123	100.0%	-756	

*子会社の連結除外

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
2007年度においては、第一ファインケミカル（株）、埼玉第一製薬（株）等が連結除外となりました。

13.連結損益計算書

(単位：億円)

	2007年度第2四半期		2008年度第2四半期		増減	増減内容
	累計	構成比 (%)	累計	構成比 (%)		
売上高	4,437	100.0%	4,063	100.0%	-374	グループ外自立化対象としている事業の縮小 -164億円 欧州(07年度)決算期変更に伴う影響額 -141億円 薬価改定および製品の販売移管等による国内医薬の減収 -106億円
売上原価	1,132	25.5%	976	24.0%	-156	原価率 -1.5P 高原価率である非医薬事業子会社を連結除外*したことによる改善
売上総利益	3,305	74.5%	3,087	76.0%	-218	
販売費及び一般管理費	2,366	53.3%	2,471	60.8%	105	非医薬事業のグループ外自立化、欧州決算期変更に伴う影響額 -110億円
広告宣伝費及び販売促進費	506		531		25	海外事業基盤拡充の為に重点投資(DSI+57億円、DSE+58億円等)
給料・賞与及び手当	468		451		-17	
研究開発費	783		823		41	開発プロジェクト進展に伴う増加
その他	609		665		56	退職給付費用の増加 ±37億円
営業利益	939	21.2%	616	15.2%	-323	(07年度 国内における制度一元化に伴い一時的に減少)
営業外収益	87	2.0%	61	1.5%	-26	
受取利息	44		32		-12	
受取配当金	20		19		-1	
その他	24		11		-13	
営業外費用	19	0.4%	81	2.0%	62	
支払利息	1		0		-1	
為替差損	-		31		31	欧州子会社資産の為替評価損
デリバティブ評価損	-		23		23	米国DSIにおける擬似ストックオプション評価損
持分法による投資損失	-		1		1	
その他	18		25		8	
経常利益	1,007	22.7%	596	14.7%	-411	
特別利益	40	0.9%	8	0.2%	-31	
固定資産売却益	13		8		-5	
関係会社株式処分益	23		-		-23	前年同期、非医薬品事業のグループ外化に伴う子会社売却益を計上
投資有価証券売却益	3		-		-3	(第一ファインケミカル、埼玉第一製薬等)
特別損失	67	1.5%	39	1.0%	-28	
固定資産処分損	8		17		10	
減損損失	-		16		16	
投資有価証券評価損	-		3		3	
事業統合関連損失	40		-		-40	
事業再編関連損失	6		-		-6	
環境対策引当金繰入額	5		2		-3	
偶発損失引当金繰入額	8		-		-8	
税金等調整前四半期純利益	980	22.1%	566	13.9%	-414	
法人税、住民税及び事業税等	377	8.5%	226	5.6%	-151	法人税率 38.5%→40.0%
当期純利益	602	13.6%	340	8.4%	-263	

*子会社の連結除外

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
2007年度においては、第一ファインケミカル(株)、埼玉第一製薬(株)等が連結除外となりました。

14.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2007年度 第2四半期累計	2008年度 第2四半期累計	増減	増減内容
税金等調整前当期純利益	980	566	-414	
減価償却費	188	193	5	
のれん償却費	18	29	11	
退職給付引当金の増減額	-246	2	248	
前払年金費用の増減額	143	7	-136	
売上債権の増減額	46	-139	-185	
たな卸資産の増減額	-7	-20	-14	
仕入債務の増減額	-81	-11	70	
未払金及び未払費用の増減額	-650	-113	537	} 前期：要員適正化や機能子会社への転籍に伴う退職金未払等の支払いによる減少
その他	-91	-9	82	
法人税等の支払額	-368	-317	51	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	-68	188	256	
短期運用資産の増減額	39	415	376	有価証券による運用資産の減少(309億円)
固定資産の取得・売却等	-128	-275	-146	骨粗鬆症治療剤の欧州販売国拡大に伴う権利取得
投資有価証券の増減額	-30	-1,884	-1,854	
貸付金の増減額	87	6	-81	
子会社株式の売却による収入	88	-	-88	
子会社株式の取得による支出	-	-243	-243	U3ファーマ社株式取得
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	56	-1,980	-2,037	
借入金の増減額	-42	-1	41	
自己株式の取得による支出	-334	-458	-124	08年度：15百万株取得(457億円) 07年度：1千万株取得(332億円)
配当金の支払額	-219	-252	-33	1株当たり5円増配
その他	-1	-0	1	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	-595	-710	-115	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	-19	-18	
V 現金及び現金同等物の増減額	-608	-2,522	-1,914	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,132	4,443	-689	
VII 連結範囲の変更による増減額	5	-	-5	
VIII 非連結子会社との合併に伴う増加額	10	-	-10	
IX 現金及び現金同等物の期末残高	4,539	1,921	-2,618	

15.主要開発パイプラインの状況

第一三共グループ主要開発パイプライン (ステージ別)

領域	主な既存品	Phase1	Phase2
循環器	Mevalotin Benicar/Olmetec Azor Welchol オルメテック カルプロック アーチスト メパロチン クレメジン ハンブ リハロ サンリズム ヘパプリコール	DB-772d(米/欧) (経口抗Xa剤) CS-8080(米/欧) (動脈硬化性疾患治療薬)	DU-176b(米/欧/日) (経口抗Xa剤) ☆CS-866CMB(日) (オルメサルタン、メキソミルとヒドロクロチアジドの配合剤) CS-747(日) (プラスグレル/抗血小板剤)
糖代謝	Welchol ファステック	AJD101(米/欧) (インスリンシグナル経路活性化剤) CS-1036(日) (糖吸収阻害剤)	CS-011(日) (リボグリタゾン/インスリン抵抗性改善剤) AJD101(日) (インスリンシグナル経路活性化剤)
感染症	Levaquin/Tavanic Banan クラビット	CS-8958(米/欧) (抗インフルエンザ/ピオタと共同開発)	CS-8958(日) (抗インフルエンザ)
癌	トポテシン クレスチン	CS-7017(米) (PPAR γ 作動薬)  → U3-1287(米) (抗HER3抗体)	CS-1008(米) (抗DR5抗体) DE-766(日) (ニモズマブ/抗EGFR抗体)
免疫・アレルギー	ジルテック	CS-0777(米/欧) (免疫抑制剤)  →	SUN13834(米) (キマーゼ阻害剤)
骨・関節	ロキソニン モービック		
その他	Venofer Evoxac オムニパーク オムニスキャン フエロン ユリーフ		SUN11031(日) (ヒトグレリン/神経性食欲不振症) SUN11031(米/欧) (ヒトグレリン/カヘキシア)

☆効能追加、剤形追加等

2008年7月(2008年度第1四半期決算発表)以降の主な変更

- 新規追加(アンダーライン) : CS-747(米/欧, ACS-MM)、CS-1036(日)
- ステージの変更 : DE-766(日)、SUN13834(米)
- 開発中止など : AJD101(米/欧/日)[臨床試験の結果、所期の成果が得られなかったため]

販売提携、導出候補品など

		Phase1	Phase2
—	—	HGF遺伝子プラスミド(米/欧)(虚血性心疾患/販売提携) SUN N8075(米/欧)(脳神経保護剤/セクラが開発)	HGF遺伝子プラスミド(米/欧)(末梢性血管疾患/販売提携) SUN N4057(米/欧)(セロニン1A7ゴニスト) CS-088(米/欧/日)(オルメサルタン/緑内障/参天と共同開発)

Phase3	承認申請中
<p>☆CS-747(米/欧) (プラスグレレル/ACS-MM/抗血小板剤)</p> <p>☆CS-866DM(日) (オルメサルタン トキソミル/糖尿病性腎症)</p> <p>☆CS-866AZ(日) (オルメサルタン トキソミルとアゼルニジピン[®]の配合剤)</p> <p>☆CS-8635(米) (オルメサルタン トキソミル、ヘパシル酸アムロジピン、 ヒドロクロチアジドの配合剤)</p>	<p>CS-747(米/欧) (プラスグレレル/ACS-PCI/抗血小板剤)</p> <p>☆CS-8663(欧) (オルメサルタン トキソミルとヘパシル酸アムロジピン[®]の配合剤)</p>
<p>CS-011(米/欧) (リボクアリタゾン/インスリン抵抗性改善剤)</p>	
<p>☆レボフロキサシン注(日) (ニューキノロン剤)</p>	<p>☆レボフロキサシン高用量(日) (ニューキノロン剤)</p>
<p>AMG 162(日) (デノスマブ / 抗RANKL抗体/癌骨転移、骨粗鬆症)</p> <p>☆CS-600G(日) (ロキソプロフェン ナトリウム/ゲル製剤)</p>	
<p>SUN Y7017(日) (メマンチン塩酸塩/ 軽度・中等度および高度アルツハイマー型認知症)</p> <p>KMD-3213(中国) (シロドシン/排尿障害治療剤)</p>	<p>☆DL-8234(日) (フェロン[®]効追/C型慢性肝炎/リバビリン併用療法)</p>

Phase3	承認申請中
	<p>DF-098(日)(アクトヒブ/販売提携/承認) HGF遺伝子プラスミド(日)(コラテジェン/末梢性血管疾患/販売提携) SUN 0588r(欧)(塩酸サプロテリン/高フェニルアラニン血症/ハイオマリンに導出)</p>

循環器

【原則P2以降の開発品を掲載しています】

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-747	プラスグレル	経口	抗血小板剤	急性冠症候群	第一三共 宇部興産	米 欧 日	申請中 申請中 P2

〔備考〕
 ・血小板表面でP2Y₁₂アデノシンニリン酸(ADP: adenosine diphosphate)受容体を遮断し、血小板の活性化および凝集を抑制する。
 ・米国、欧州はイーライリリーとの共同開発。日本は自社開発。
 ・米国では2007年12月、欧州では2008年2月に承認申請し、また米国において、2008年2月に優先審査品目に指定された。
 ・FDA(米国医薬食品局)による当初の審査期限であった2008年6月26日、延長後の期限であった9月26日までに審査が完了せず、引き続き審査が継続されている。
 ・第3相臨床試験において、プラスグレルは対照薬であるクロピドグレルに対して、重篤な心血管イベント発生リスクを統計学的有意性をもって19%減少させることが明らかとなり、出血の増加が認められたものの、リスクベネフィットを勘案した正味の臨床的有用性が示された(2007年11月開催の米国心臓協会学術大会にて発表)。
 ・第3相臨床試験の結果より、プラスグレルはクロピドグレルと比較してステント血栓症の関連リスクを52%減少させることが確認されていたが、サブ解析から薬剤溶出性ステント治療を受けている群で64%、ベアメタルステント治療をうけている群で48%、それぞれリスクを減少させることが明らかとなった(2008年3月開催の米国心臓病会議のInnovation in Intervention Summitおよび米国心血管造営とインターベンション会議合同学術大会において発表)。
 ・現在申請している適応は、経皮的冠動脈形成術(PCI: Percutaneous Coronary Intervention)を受けている急性冠症候群である(ACS-PCI)。
 ・2008年6月より、新たに血管再建術を予定していない急性冠症候群患者を対象として、薬剤治療試験のP3を開始(ACS-MM)。

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DU-176b	-	経口	抗Xa剤	心房細動に伴う心原性脳梗塞の予防 静脈血栓症の予防・治療	第一三共	米 欧 日	P2 P2 P2

〔備考〕
 ・血液が凝固する過程で重要な役割を果たす血液凝固第Xa因子を阻害する。
 ・ヒトにおける高い経口吸収性が認められた1日1回投与が可能な経口抗Xa剤である。
 ・前臨床試験および臨床試験において、肝機能異常を引き起こす可能性が低いことを確認している。
 ・米国、欧州、日本とも自社開発。
 ・股関節置換術(THR/欧米)を対象とした後期第2相臨床試験において、血栓塞栓症を用量依存的に抑制することが確認され、また血栓塞栓症の抑制効果が高い用量においても、出血の発現率の増加は認められなかった(2008年9月開催の欧州心臓病学会において発表)。
 ・膝関節置換術(TKR/日本)を対象とした後期第2相臨床試験において、血栓塞栓症を用量依存的に抑制することが確認され、また大出血および臨床的に重要な出血の用量依存的な増加は認められなかった(2008年9月開催のアジア太平洋血栓止血学会において発表)。
 ・米国、欧州、日本において実施していた心房細動を対象とした後期第2相臨床試験は終了し、今後学会での発表を予定している。また、2008年11月に第3相臨床試験を開始する予定。

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8663	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤	高血圧症	第一三共	欧	申請中

〔備考〕
 ・オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とベシル酸アムロジピン(カルシウム拮抗剤)の配合剤。
 ・米国:2007年9月承認。商品名:Azor(エイゾール)。
 ・欧州:2007年9月申請。予定商品名:Sevikar(セビカー)。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866DM	オルメサルタン メドキシミル	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤	2型糖尿病における糖尿病性腎症	第一三共	日	P3

〔備考〕
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環として糖尿病性腎症への適応拡大。
 ・ORIENT試験において、主要評価項目として腎複合エンドポイントを評価。
 腎複合評価エンドポイント:血清クレアチニンの2倍化、末期腎不全への移行(Scr₂5mg/dL、透析移行、腎移植)、死亡
 ・承認申請予定:2009年

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866AZ	オルメサルタン メドキシミル アゼルニジピン	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤	高血圧症	第一三共	日	P3

〔備考〕
 ・オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とアゼルニジピン(カルシウム拮抗剤)の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。
 ・承認申請予定:2009年

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866CMB	オルメサルタン メドキシミル ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	日	P2

〔備考〕
 ・オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とヒドロクロロチアジド(利尿剤)の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。
 ・米国:2003年9月発売。
 ・欧州:2005年6月発売。

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8635	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	米	P3

〔備考〕
 ・オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)、ベシル酸アムロジピン(カルシウム拮抗剤)および利尿剤の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。
 ・承認申請予定:2009年

糖代謝

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-011	リボグリタゾン	経口	インスリン抵抗性改善剤	糖尿病	第一三共	米 欧 日	P3 P3 P2
[備考] ・PPAR γ アゴニスト。 ・第2相臨床試験において、HbA1cの低下、TGの低下、HDL-Cの上昇が認められた。 HbA1C:投与開始時点からのHbA1c低下(プラセボ補正)は、リボグリタゾン2mg、3mg群ともピオグリタゾン45mg群に比較して有意に大きかった。 TG,HDL-C:リボグリタゾン群はピオグリタゾン群45mgに比較してTG低下、HDL-C上昇が大きかった。							

感染症

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8958	-	吸入	ノイラミニダーゼ阻害剤	インフルエンザ	第一三共	米 欧 日	P1 P1 P2
[備考] ・長時間作用型のノイラミニダーゼ阻害剤であり、1回の投与のみで治療効果および週1回の投与での予防効果が期待できる。 ・米国、欧州でピオタ社と共同開発。日本では自社開発。 ・インフルエンザウイルスの感染部位である肺、気管に直接作用する吸入剤として開発中。 ・今シーズンよりP3開始予定。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
レボフロキサシ 高用量	レボフロキサシ	経口	ニューキノロン剤	細菌感染症	第一三共	日	申請中
[備考] ・DNAジャイレース活性およびトポイソメラーゼIV活性の阻害により細菌のDNA合成を阻害する。 ・2007年11月に申請。 ・レボフロキサシンの用法用量変更[1回100mg(重症な場合は200mg)、1日2~3回から、1回500mg、1日1回]。 ・レボフロキサシンライフサイクルマネジメントの一環。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
レボフロキサシ注	レボフロキサシ	注	ニューキノロン剤	細菌感染症	第一三共	日	P3
[備考] ・DNAジャイレース活性およびトポイソメラーゼIV活性の阻害により細菌のDNA合成を阻害する。 ・レボフロキサシンの注射剤であり、剤形追加。							

癌

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-1008	-	注射	抗DR5抗体	-	第一三共	米	P2
[備考] ・ヒトDeath Receptor 5(DR5)に対するアゴニスティックなマウスモノクローナル抗体であるTRA-8のヒト化抗体。 ・DR5は、ほとんどの正常細胞では発現していないことから腫瘍細胞選択的に作用することが期待される。 ・細胞表面にDR5を発現した癌細胞に対してアポトーシスを誘導する。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DE-766	ニモツズマブ	注射	抗EGFR抗体	-	CIMYM バイオサイエンス	日	P2
[備考] ・Epidermal Growth Factor Receptor(EGFR、上皮細胞成長因子受容体)に対するヒトモノクローナル抗体。 ・皮膚毒性に関する安全性と他のEGFR抗体に匹敵する有効性から、ベストインクラスのEGFR抗体として期待される。							

免疫・アレルギー

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN13834	-	経口	キマーゼ阻害剤	アトピー性皮膚炎	アスピオファーマ	米	P2
[備考] ・肥満細胞から放出されアレルギー反応に関与する内因性蛋白分解酵素であるキマーゼを阻害する。 ・アスピオファーマが米国にて開発中。 ・新規メカニズムの経口アトピー性皮膚炎治療薬になると期待される。							

骨・関節

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
AMG162	デノスマブ	注射	抗RANKL抗体	骨粗鬆症 がん骨転移	アムジェン	日	P3
[備考] ・骨吸収の鍵となるメディエーターであるRANKリガンドを特異的にターゲットとする完全ヒトモノクローナル抗体。 ・2007年7月アムジェンより導入。 ・骨粗鬆症に対して、第3相臨床試験の実施中。 ・癌の骨転移に対して、第3相国際共同治験を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-600G	ロキソプロフェン ナトリウム	ゲル	消炎鎮痛剤	-	第一三共	日	P3
[備考] ・作用機序:プロスタグランジン生合成抑制作用。作用点:シクロオキシゲナーゼ。 ・自社開発。 ・ロキソプロフェンナトリウム水和物含有経皮吸収型軟膏剤(ゲル製剤) ・ロキソニン(ロキソプロフェン ナトリウム)の剤形追加。							

その他

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN Y7017	マンチン塩酸塩	経口	NMDA受容体拮抗剤	アルツハイマー型認知症	メルツ	日	P3(高度) P3(軽・中等度)
[備考] ・既存のアセチルコリンエステラーゼ阻害剤とは異なり、グルタミン酸受容体の1つであるNMDA受容体への拮抗作用を有するアルツハイマー型認知症治療剤である。 ・神経細胞保護作用による認知症症状の進行抑制が期待される。 ・アスピオファーマが開発。 ・日本において「高度アルツハイマー型認知症」と「軽度・中等度アルツハイマー型認知症」に対するPhase3を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
KMD-3213	シロドシン	経口	α 1A受容体選択的拮抗剤	前立腺肥大に伴う排尿障害改善	キッセイ薬品	中国	P3
[備考] ・前立腺の α 1A受容体をブロックし尿道の緊張を弛緩させ、尿道抵抗を改善する。既存薬に比べ α 1A受容体に対する選択性が高いため、循環器系への副作用が少なく、また自覚症状の早期改善が期待される。 ・日本では、ユリーフの販売名で第一三共、キッセイ薬品が販売。 ・中国で自社開発。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN 11031	ヒグレリン	注射	-	カヘキシア 神経性食欲不振症	アスピオファーマ	米 欧 日	P2 P2 P2
[備考] ・現在までに発見されている摂食行動に関係するホルモンの中で、グレリンは唯一の末梢性の内因性摂食亢進因子であり、あわせて強力な成長ホルモン分泌促進作用を有する。 ・米国、欧州、日本ともアスピオファーマが開発。 ・米国、欧州では、カヘキシアを対象に、日本では、神経性食欲不振症を対象に第2相臨床試験を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DL-8234	インターフェロン- β	注射	インターフェロン- β 製剤	C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)	東レ	日	申請中
[備考] ・日本において商品名フェロンで販売。 ・2007年9月に効能追加[C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)]申請。 ・東レとの共同開発。 ・ α 型に比較して抑うつ等の中枢性副作用、脱毛の発現が少ない天然型のインターフェロン- β 製剤。							

ヒストリカルデータ (ご参考)

1. 四半期損益計算書推移

(単位：億円)

	2007年度									
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度					
売上高	<12.9> 100.0	<3.3> 2,355	<3.0> 100.0	<7.3> 2,521	<5.3> 100.0	8,801				
売上原価	24.6	579	26.6	553	27.2	685				
販管費	46.6	1,099	60.9	1,267	47.9	1,207				
再掲) 研究開発費	13.9	327	21.9	455	15.4	388				
再掲) 研究開発費以外の販管費	32.7	771	39.0	812	32.5	820				
営業利益	<11.6> 28.8	<48.5> 678	<17.2> 12.5	<98.8> 261	<15.0> 24.9	<34.4> 629	0.0	1	17.8	1,568
営業外収益		59		28		35		48		170
営業外費用		21		-2		10		19		48
経常利益	<5.6> 30.4	<42.6> 717	<12.8> 14.0	<49.5> 290	<11.2> 25.9	<40.8> 654	<1.6> 1.6	<30.0> 30	<19.2> 19.2	<1,691.0> 1,691
特別利益		39		1		1		120		161
特別損失		40		26		23		94		183
税引前利益	30.4	715	12.7	265	25.1	632	3.1	57	19.0	1,669
当期純利益	<13.7> 17.6	<0.3> 414	<23.8> 9.0	<45.0> 188	<24.3> 14.3	<36.2> 362	<0.7> 0.7	<12.0> 12	<11.1> 11.1	<977.0> 977

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<13.5> 100.0	<2.7> 2,037	<8.4> 100.0
23.9	486	24.0
56.5	1,151	60.8
18.1	369	20.3
38.4	782	40.5
<41.0> 19.6	<17.1> 400	<34.4> 10.7
	36	25
	28	53
<43.0> 20.1	<35.3> 409	<40.8> 9.3
	0	8
	13	26
19.4	395	13.9
<39.4> 12.3	<52.8> 251	<43.6> 4.4
	89	8.4
	340	340

<決算期変更並びに非医薬品事業グループ外化による影響除外後の業績>

(単位：億円)

	2007年度									
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度					
売上高	<2.5> 100.0	<6.5> 2,133	<7.7> 100.0	<3.2> 1,999	<5.1> 100.0	8,340				
売上原価	22.1	472	23.9	478	24.9	605				
販管費	46.9	1,000	62.8	1,255	49.2	1,196				
再掲) 研究開発費	15.1	322	22.7	453	15.9	385				
再掲) 研究開発費以外の販管費	31.8	678	40.1	802	33.3	811				
営業利益	<34.2> 31.0	<69.3> 662	<19.8> 13.3	<-> 266	<29.2> 25.9	<-> 630	<-7.0> -0.4	<-7.0> -7	18.6	1,551
営業外収益		56		28		35		48		166
営業外費用		21		-2		10		18		47
経常利益	<27.6> 32.7	<58.4> 697	<15.4> 14.8	<47.7> 295	<24.2> 27.0	<36.5> 655	<1.3> 1.3	<23.0> 23	<20.0> 20.0	<1,671.0> 1,671
特別利益		22		1		1		50		74
特別損失		40		26		23		79		169
税引前利益	31.8	679	13.5	270	26.1	634	-0.4	-7	18.9	1,576
当期純利益	<23.3> 17.9	<28.4> 381	<-> 9.6	<-> 192	<167.7> 15.9	<-> 387	<-0.5> -0.5	<-9.0> -9	11.4	951

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<4.5> 100.0	<1.4> 2,037	<1.7> 100.0
23.9	486	24.0
56.5	1,151	60.8
18.1	369	20.3
38.4	782	40.5
<39.5> 19.6	<18.7> 400	<33.6> 10.7
	36	25
	28	53
<41.4> 20.1	<36.4> 409	<39.9> 9.3
	0	8
	13	26
19.4	395	13.9
<34.2> 12.3	<53.6> 251	<40.7> 4.4
	89	8.4
	340	340

2. グローバル製品売上高

(単位：億円)

	2007年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
オルメサルタン	<3.6> 531	<33.1> 436	<35.8> 540	<22.8> 449	<22.0> 1,956
オルメテック (日本)	<40.5> 138	<31.4> 126	<29.5> 176	<21.4> 112	<30.7> 552
パニカー/パニカーHCT (米国)	<36.1> 228	<23.0> 217	<22.0> 241	<-2.0> 193	<5.3> 879
エイソール (米国)	-	-	<-> 19	<-> 7	<-> 25
オルメテック/オルメテックプラス* (欧州)	<185.4> 149	<52.4> 74	<45.0> 83	<66.5> 112	<85.6> 418
輸出/アジア・中南米子会社等	<196.1> 16	<184.6> 19	<199.0> 21	<180.7> 25	<189.2> 81
レボフロキサシン	<17.9> 295	<1.6> 235	<1.0> 321	<3.6> 237	<4.4> 1,087
クラビット (日本)	<3.5> 121	<7.2> 100	<8.5> 155	<11.5> 98	<1.4> 474
輸出等	<41.1> 108	<20.0> 69	<13.2> 97	<-5.5> 66	<6.8> 340
特許料	<8.5> 47	<8.6> 46	<-6.9> 48	<3.0> 54	<2.8> 195
アジア子会社	<39.6> 20	<20.7> 19	<19.6> 21	<2.9> 19	<19.5> 78
プラバスタチン	<16.2> 217	<28.6> 186	<12.3> 216	<14.1> 145	<18.3> 765
メバロチン (日本)	<8.4> 163	<9.6> 154	<8.7> 182	<10.3> 116	<9.1> 616
輸出	<72.5> 17	<83.7> 12	<54.7> 14	<68.2> 7	<73.4> 50
欧州子会社*	<77.9> 28	<22.8> 13	<13.3> 12	<1.5> 13	<11.5> 67
アジア・中南米子会社	<270.7> 8	<210.4> 8	<224.0> 8	<212.7> 8	<227.5> 32

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<4.5> 507	<23.7> 539	<8.2> 1,046
<12.8> 156	<24.9> 157	<18.6> 313
<2.6> 234	<1.8> 221	<2.2> 455
<-> 14	<-> 24	<-> 38
<44.3> 83	<40.7> 103	<16.3> 187
<30.4> 20	<72.2> 33	<53.6> 54
<12.6> 258	<0.5> 236	<6.8> 493
<15.5> 102	<6.0> 94	<11.2> 196
<11.3> 96	<19.4> 83	<0.7> 178
<12.6> 41	<13.8> 40	<13.2> 80
<1.8> 19	<0.9> 19	<0.5> 39
<25.8> 161	<14.9> 159	<20.8> 319
<17.1> 135	<14.8> 131	<16.0> 266
<39.0> 10	<33.6> 8	<36.8> 18
<74.3> 7	<-3.4> 12	<52.2> 20
<3.1> 8	<7.6> 8	<5.4> 15

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、オルメテック/オルメテックプラス64億円 (€40mil)、プラバスタチン16億円 (€10mil) であります。

4. 海外売上高

(単位: 億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
海外売上高	<8.4> 1,055	<4.4> 830	<14.2> 924	<4.2> 778	<0.5> 3,586	<15.9> 887	<3.6> 861	<7.3> 1,747
対売上高比率	44.8%	39.9%	36.6%	42.2%	40.7%	43.5%	42.5%	43.0%
北米	<30.0> 561	<0.5> 551	<15.0> 622	<11.9> 465	<9.1> 2,199	<3.9> 583	<2.7> 536	<0.6> 1,119
欧州*	<41.8> 391	<3.7> 177	<2.0> 194	<7.7> 223	<16.8> 985	<42.6> 224	<31.8> 233	<19.5> 457
アジア/中南米他	<39.2> 103	<33.2> 103	<38.3> 107	<17.0> 90	<31.9> 402	<22.3> 80	<10.9> 92	<16.6> 171

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円であります。

5. セグメント別情報 (事業別)

(単位: 億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<12.9> 2,355	<3.3> 2,082	<3.0> 2,521	<7.3> 1,843	<5.3> 8,801	<13.5> 2,037	<2.7> 2,026	<8.4> 4,063
医薬品事業	<8.8> 2,258	<2.2> 1,982	<7.0> 2,412	<3.1> 1,756	<0.4> 8,408	<10.2> 2,029	<1.7> 2,016	<4.6> 4,045
国内医療用医薬品	<3.9> 1,125	<4.0> 1,020	<2.3> 1,357	<1.8> 870	<0.9> 4,373	<8.2> 1,033	<0.4> 1,016	<4.5> 2,050
海外医療用医薬品*	<6.5> 1,032	<8.9> 815	<16.2> 894	<3.2> 783	<4.3> 3,525	<14.1> 887	<5.3> 858	<5.5> 1,745
ヘルスケア	<11.5> 99	<8.5> 145	<0.1> 152	<30.6> 108	<4.9> 503	<3.1> 102	<5.2> 138	<1.8> 240
その他事業	<57.9> 97	<53.5> 100	<43.4> 109	<69.6> 87	<57.4> 393	<91.5> 8	<90.0> 10	<90.7> 18
連結営業利益	<11.6> 678	<48.5> 261	<17.2> 629	<98.8> 1	<15.0> 1,568	<41.0> 400	<17.1> 216	<34.4> 616
医薬品事業	<15.1> 683	<56.5> 258	<18.4> 625	<140.5> -11	<18.5> 1,556	<42.3> 394	<18.9> 209	<35.9> 604
その他事業	<-> -3	<-> -1	<-> 3	<-> 11	<-> 10	<-> 5	<-> 7	<-> 12

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6. セグメント別情報 (所在地別)

(単位: 億円)

	2007年度実績					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<12.9> 2,355	<3.3> 2,082	<3.0> 2,521	<7.3> 1,843	<5.3> 8,801	<13.5> 2,037	<2.7> 2,026	<8.4> 4,063
日本	<15.3> 1,518	<11.8> 1,435	<4.1> 1,797	<11.1> 1,230	<10.4> 5,981	<12.6> 1,327	<7.3> 1,330	<10.1> 2,657
北米	<36.6> 450	<19.1> 446	<24.7> 511	<11.4> 372	<7.1> 1,780	<12.5> 507	<1.4> 453	<6.9> 959
欧州*	<98.3> 323	<18.2> 130	<21.6> 144	<28.2> 182	<46.1> 780	<53.1> 152	<41.9> 185	<25.8> 336
アジア/中南米 他	<59.1> 63	<73.8> 70	<52.7> 69	<36.3> 59	<55.0> 261	<16.9> 52	<16.3> 58	<16.6> 111
連結営業利益	<11.6> 678	<48.5> 261	<17.2> 629	<98.8> 1	<15.0> 1,568	<41.0> 400	<17.1> 216	<34.4> 616
日本	474	219	473	-95	1,071	185	82	267
北米	132	92	125	26	376	169	109	278
欧州*	44	-11	14	59	107	12	0	13
アジア/中南米 他	7	5	7	4	25	7	4	11

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7. 主要会社の状況

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
国内医療用医薬品合計	1,107	1,003	1,319	842	4,271	1,009	995	2,004
循環器関連疾患領域	638	585	718	502	2,442	600	572	1,172
オルメテック 【高血圧症治療剤】	138	126	176	112	552	156	157	313
カルブロック 【高血圧症治療剤】	25	23	30	24	102	30	29	60
アーチスト 【高血圧症治療剤】	55	51	60	46	211	57	53	110
メパロチン 【高血圧症治療剤】	163	154	182	116	616	135	131	266
クレメジン 【慢性腎不全用剤】	31	31	35	27	124	32	32	64
ハンブ 【急性心不全剤】	26	19	29	24	98	24	18	42
リハロ 【高血圧症治療剤】	14	13	16	12	55	15	15	29
サンリズム 【不整脈治療剤】	32	30	34	25	121	31	29	59
ファスティック 【血糖降下剤】	13	13	15	11	52	13	13	26
感染症/骨・関節/免疫・アレルギー/泌尿器	336	306	459	287	1,388	308	319	627
クラビット 【合成抗菌剤】	121	100	155	98	474	102	94	196
ロキソニン 【消炎鎮痛解熱剤】	83	81	98	74	336	84	104	189
モービック 【消炎鎮痛剤】	28	26	29	20	102	24	21	46
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	11	12	17	14	54	18	18	35
シルテック 【抗アレルギー剤】	27	19	27	37	108	20	16	36
造影剤/癌/消化器	158	145	171	117	591	123	125	248
オムニパーク 【造影剤】	82	77	92	60	312	73	73	146
トボテシン注 【抗悪性腫瘍剤】	16	15	17	13	62	16	15	31

7-2. 第一三共ヘルスケア

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ヘルスケア売上高合計	99	145	152	108	503	102	138	240
ルル類	11	37	37	15	100	12	36	49
ガスター10	9	8	10	8	35	7	9	16
新三共胃腸薬類	6	7	13	8	35	7	9	16
パテックス類	10	9	7	5	30	8	8	16
トランシーノ	-	14	7	5	26	7	5	12

7-3. 第一三共Inc. (米国)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共Inc. (DSI)	<29.8>	21.1	35.1	<16.6>	<2.7>	<12.0>	<0.6>	5.8
mil USD	332	319	376	242	1,269	372	317	689
	<32.7>	<19.4>	<39.6>	<3.6>	<0.4>	<29.4>	<8.4>	<19.0>
mil USD	275	271	330	234	1,110	356	294	649
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<36.1>	<23.0>	<22.0>	<2.0>	<5.3>	<2.6>	<1.8>	<2.2>
mil USD	228	217	241	193	879	234	221	455
	<38.8>	<21.3>	<26.3>	<11.6>	<3.0>	<18.6>	<11.3>	<15.0>
mil USD	188	184	212	184	769	223	205	428
エイゾール 【高血圧症治療剤】	-	-	<->	<->	<->	<->	<->	<->
mil USD	-	-	16	6	22	14	24	38
	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
mil USD	-	-	16	6	22	13	23	36
ウェルコール 【高血圧・心臓病治療剤 / 2型糖尿病治療剤】	<33.6>	<27.8>	<29.5>	<3.4>	<2.1>	<11.0>	<8.8>	<9.9>
mil USD	58	56	62	51	227	64	61	125
	<36.4>	<26.0>	<34.1>	<9.6>	<0.2>	<28.2>	<18.9>	<23.6>
mil USD	48	48	55	49	199	62	57	118

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ルイトボルド (LPI)	<50.2>	<14.3>	<2.3>	<0.6>	<16.3>	<13.8>	<6.4>	<9.9>
mil USD	119	127	135	130	511	135	135	270
	<52.2>	<12.6>	<5.9>	<12.9>	<14.3>	<31.4>	<16.5>	<23.6>
mil USD	98	108	119	122	447	129	126	255
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<50.8>	<16.5>	<3.5>	<5.5>	<17.6>	<23.1>	<6.4>	<14.0>
mil USD	68	80	82	81	311	83	85	168
	<52.8>	<14.6>	<0.3>	<5.7>	<15.6>	<42.2>	<16.7>	<28.3>
mil USD	56	68	72	76	272	80	79	159

7-5. 第一三共ヨーロッパ GmbH (欧州)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE)	<103.6>	<22.5>	<26.3>	<32.8>	<51.0>	<53.1>	<42.4>	<25.7>
mil EUR	323	130	145	182	780	152	185	337
	<79.4>	<9.2>	<14.7>	<27.4>	<37.5>	<54.2>	<42.5>	<26.8>
mil EUR	203	80	88	115	486	93	114	207
オルメテック/オルメテックプラス	<185.4>	<52.4>	<45.0>	<66.5>	<85.6>	<44.3>	<40.7>	<16.3>
mil EUR	149	74	83	112	418	83	103	187
	<151.5>	<35.5>	<31.0>	<58.4>	<69.0>	<45.6>	<40.5>	<17.5>
mil EUR	94	45	51	71	261	51	64	115
メパロチン 【高血圧・心臓病治療剤】	<77.9>	<22.8>	<13.3>	<1.5>	<11.5>	<74.3>	<3.4>	<52.2>
mil EUR	28	13	12	13	67	7	12	20
	<56.8>	<31.5>	<21.4>	<1.2>	<1.5>	<74.9>	<3.6>	<52.8>
mil EUR	18	8	7	8	42	4	8	12
	<->	<38.1>	<62.6>	<51.5>	<87.1>	<71.7>	<419.7>	<163.5>
エピスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<->	19	7	13	52	32	35	68
mil EUR	12	4	8	9	33	20	22	42
	<->	<45.8>	<46.6>	<43.6>	<70.4>	<67.7>	<421.3>	<159.7>

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算（2007年1月-2008年3月）となっております。

2007年1月-3月の実績は、DSE 141億円（€89mil）、オルメテック/オルメテックプラス64億円（€40mil）、プラバスタチン16億円（€10mil）、エピスタ10億円（€6mil）であります。

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

1) 各社売上高

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ASCA合計	47	52	52	59	210	<10.5>	<12.7>	<11.6>
						52	58	111
第一製薬北京 (DPP)	9	10	10	12	41	<10.9>	<0.8>	<4.7>
上海三共 (SSP)	6	6	7	5	23	<29.5>	<64.3>	<47.1>
韓国第一三共 (DSKR)	9	9	9	8	34	<4.3>	<1.1>	<2.7>
第一三共タイ (DSTH)	2	2	2	2	8	<4.9>	<17.9>	<7.2>
台湾第一三共 (DSTW)	9	9	9	9	37	<1.6>	<1.2>	<1.4>
第一三共ブラジル (DSBR)	9	10	10	14	44	<11.5>	<14.9>	<13.3>
第一三共ベネズエラ (DSVE)	4	5	5	9	24	<21.7>	<12.0>	<16.2>

2) 主要製品売上高

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
オルメサルタン	8	9	10	15	42	<69.3>	<110.1>	<91.5>
レボフロキサシン	20	19	21	19	78	<1.8>	<0.9>	<0.5>
プラバスタチン	8	8	8	8	32	<3.1>	<7.6>	<5.4>

つくっているのは、希望です。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社